

光栄の森

平成24年6月 毎月1日発行 第48号
発行者 光栄プロテック 重延

今期の基本方針

代表取締役 三田雅憲

5月も終わり、あじさいやしょうぶがあちこちの庭に咲き出す季節がやってきました。今期よりある班長の提案で、毎週土曜日を「整理整頓の日」とし、工場での実践に励んでくれています。まだまだ床にウエスやゴミが落ちていても気にならない社員もおりますが、工場の整理整頓により一層の協力をお願いします。

前年度は、お客様からのご指摘で再塗装となるものが多く、「引き取り・再仕上げ・再納品」と、一製品に過大な時間とコストを要する事例が目につきました。今年度は①やり直しの根絶（社内はもちろん社外に出ても）②短納期への対応力強化（光栄さん、品質はいいけど時間がかかるから出されへんなあ、ということのないように）③ストップ・ザ・浪費（時間と材料の無駄遣い）を主眼に置いて工場の運営をしていきたいと思っております。売上があっても費用がそれ以上にかかってしまえば何をやっているのかわからなくなります。こちらから合わせて協力をお願いします。

今期の我が社の基本方針

1. 今期こそ十分な利益を出し、会社を永続的に安定させること。
2. 第2工場ラインの設備修理及び各工場の床等の塗装をし、良い環境で作業にかかれること。
3. リピート顧客の増加・スポット顧客の取り込みをして売上アップにつなげること。
4. 新たな分野への参入（木塗装と粉体塗装への拡大）
5. 社員のコスト意識の高揚
6. 一人一人が技術的にできることを1つでも多く身に付けること。（塗り、硫化色合わせ、磨きなど先輩社員さんにやってもらっている細やかな作業を何でもよいから1つ増やす。）

以上の6項目は、会長・社長・班長だけが思い実践してなるものではありません。社員及び光栄プロテックに携っている方々すべてが同様の思いにたって頑張っていかなければ満足な結果にはつながらないのです。以前、「プライドの持てる生き方をしようではないか」と呼びかけたことがありました。「プライドを持つ」とは人に信頼される言動をすること、ルールをしっかりと守ること、社会から認知されること、自分の職業に圧倒的な技術力を持つこと等々です。どれも簡単そうで難しいことばかりですが、できると信じて一日一日を頑張るのみです。

7月には、ささやかですが社員皆で京都へ小旅行を企画しております。マイカー通勤のため、忘年会でお酒を飲みながら腹を割って話をするという機会もなくなり、会長もずっと熟考して頂いていた企画です。当日はワイワイと心の底から楽しめる会にしたいと考えておりますので、皆さんも楽しみにしててください。